

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		体育施設管理運営事業（鹿窪運動公園管理運営）						予算事業名		鹿窪運動公園管理運営経費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	結城市鹿窪運動公園施設の設置及び管理に関する条例			
				10	06	02	0502	経常経費					
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業			
		4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進（スポ											
		①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実						担当課係等		スポーツ振興課 スポーツ振興係			
1施設の有効活用													
事業期間		継続（昭和24年度～平成32年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ等を楽しめる拠点となる施設として整備を進める。2019年茨城国体、2020年インターハイの開催を受け、全国各地から訪れる選手等に本市の良いイメージを残していただくため、充分なおもてなしを行う。							体育施設の整備に合わせ、維持管理を実施。近隣他市も、市民スポーツの拠点となる施設を有し、独自に管理を実施している。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・鹿窪運動公園管理を指定管理者に管理を行わせ、適切な維持管理を実施する。 ・施設用備品の管理を実施し、適切な備品の更新を行う。 31年度 アリーナ空調設備改修工事、駐車場ライン設置工事、水のふれあい広場塗装改修工事、防犯カメラ設置工事、キュービクル更新工事、高圧ケーブル更新工事、樹木剪定、子ども広場遊具修繕 備品購入（空手マット2面分288枚、柔道畳2面分225枚 外）							施設利用者 市民全般						
							【事業をとりまく環境の変化】 市民のニーズが多様化しているとともに、2019年茨城国体、2020年全国高等学校総合体育大会を見据えながら、優先順位の高いものから計画的に施設及び施設備品等の修繕や更新を実施しなければならない。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
・指定管理業務 ・アリーナ空調設備改修工事、駐車場ライン設置工事、水のふれあい広場塗装、キュービクル更新、高圧ケーブル更新、樹木剪定、子ども広場遊具修繕、備品購入（空手マット2面分288枚、柔道畳2面225枚 外）				・指定管理業務				・指定管理業務 ・公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき長寿命化を図る					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	4,734						
	県		支	出	金	0	4,700						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	111,525	85,136						
歳入計（千円）				111,525		94,570							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	11	需用費		6,526		3,144							
	12	役務費		92		93							
	13	委託料		71,201		72,250							
	14	使用料及び賃借料		1,586		1,586							
	15	工事請負費		27,497		13,787							
	18	備品購入費		4,623		3,710							
歳出計（千円）（A）				111,525		94,570							
伸び率（％）						-15.20							
備 考	総合計画 123ページ 予算書 181ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	事業開催（指定管理者自主事業・共催事業）	回	目標	21.00	21.00	0.00
			実績	17.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	施設利用者	人	目標	180,000.00	180,000.00	0.00
			実績	173,883.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	成人週1スポーツの拠点となる施設であり、今後も適切な管理を実施しなければならない。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	指定管理者の実施が妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	施設の改修、設備の更新が必要である。 指定管理者制度によりコスト、人員ともに効率が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民をはじめ、誰もが利用できる施設であり、公平性は確保されている。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	利用者は増加の傾向にあるが、駐車場の確保に苦慮している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	順次、施設改修、器具等の更新を実施する。 指定管理も問題なく運営されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
- 大規模な大会開催時（平成31年の国体開催を見据え）に駐車場が不足する。 - 利用者の増加及び満足度の向上のため、施設の安全確保及び機能強化を図る。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
- 今後も施設・設備の強化、安全対策を計画的に行っていく。 - 指定管理者による自主事業・共同事業等の積極的開催、コスト効率の改善を図らせる。 2019年茨城国体、2020年インターハイを見据え、優先順位の高いものから計画的に改修する。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 鹿窪運動公園は、市民のスポーツ・レクリエーション活動における中心拠点であることから、計画的な施設・設備の更新を進める。また、指定管理者制度を導入している施設でもあることから、施設を有効に利用してスポーツをする機会、スポーツを学ぶ機会の場を提供するよう管理者に対し指導していく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。